



2021年2月10日 No.4  
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

# 建交労

2021年春闘・月間推進ニュース

## 本日は春闘要求書一斉要求提出日! 各職場で賃上げ・雇用確保の追求を

本日2月10日は2021年春闘要求書の全国一斉提出日です。コロナ禍の下で2度目となる緊急事態宣言が発令され、日本経済は大きく停滞しています。厚労省が9日に発表した毎月勤労統計調査で、11年ぶりに賃金ダウンしていたことがわかりました。

例年は冬季一時金の支給月をなるため個人消費にも大きく影響が出ることは避けられません。2021春闘をめぐる情勢は、厳しさを増しており、体力の小さい中小零細企業は間違いなく、労働者にしわ寄せを押し付けようとしています。一方で大企業は、一部を除いてもうけを貪っています。トヨタ自動車は、2021年3月決算での最終利益を5千億円に増加する見込みを発表しています。コロナ禍で停滞している経済を活性化させるためにも、国民所得の引き上げと内需拡大が必要不可欠です。その為にも体力のある大企業各社が率先して、賃上げと下請単価の改善や税・社会保険料の応能負担の実施など、「社会的責任」を果たさせることが必要です。ところが、連合加盟のトヨタ関連労組は一律のベア要求額を開示しないと発表するなど、歩合制給与を推進する会社側に隷属する姿勢を取り続けており、労組の使命を投げ捨てるだけでなく、賃上げムードを妨害しています。

産業別・業種別の闘いを推進し、各職場・地域から「コロナ禍だからこそ賃上げしよう」の声と運動を広げ、中小零細企業に対する支援制度の拡充要求も掲げて、国民春闘共闘や県労連・地方労連の仲間と共に横のつながりを広げ、国民世論を広げていきましょう。各県本部・支部・分会は職場の状況を把握しましょう。

## 2.7 ローカル・ビックアクション・札幌

道労連・市民がとりくんだ「2.7 ローカル・ビックアクション」の札幌市内の行動に北海道本部、鉄道本部、札幌学童保育支部から9人が参加しました。コロナ禍で窮地となっている生活・雇用や営業を打開し、医療崩壊を防止しようと市民にアピールしました。建交労からは札幌学童の仲間が発言しました。

